

# 【木育プログラム実施手法】

乳幼児期の子ども達なので、まずは木に興味や親近感を覚えてもらうことを目的にプログラムをたてました。その中で、木の特性や森の役割、大切さをしり、自然の中でも樹木に関心を持てるように工夫をしました。

## 1.木と親しむおはなし会 所要時間:30分程度

乳幼児期は絵本やおはなしに触れることが大好きであることを生かし、おはなし会を開催する。森や木を題材にした絵本・大型紙芝居の読み聞かせや、直接木に触れることによりおはなしの世界と実体験を重ね合わせながら木の良さ、温かさを伝える。また、木に興味や親近感を持たせる。

### <3才未満>

- ①8種類の木でできた木琴(森の合唱団台)を使って、木を叩くといろいろな音がすることを伝える。
- ②オリジナル大型紙芝居:「この木なんの木」
- ③絵本 手遊び、からだ遊び、わらべうたなど  
紙芝居、絵本を通し木に親しみをもち興味をもたせる。
- ⑥パネル「積み木の遊び方の注意」  
ひのきの積み木を使って、積み木の遊び方や注意事項を説明する。

### <3才以上>

- ①8種類の木でできた木琴(森の合唱団台)を使って、木を叩くといろいろな音がなることを伝える。
- ②オリジナル大型紙芝居:「スギじいさんとカリカリ」、または「森のおじいさんとピツピ」  
森の役割、伐採の必要性、間伐材利用の大切さを紙芝居により伝える。
- ③絵本 手遊び、からだ遊び、わらべうた など  
絵本を通し、樹木に親しみや興味を持たせる。木の良さを伝える。
- ④木育クイズなど
- ⑤パネル「積み木の遊び方の注意」  
ひのきの積み木を使って、積み木の遊び方や注意事項を説明する。

## 2.ウッディアートスクール 所要時間:1時間程度

実際に木を加工しながら、木の感触や匂いなどを体感してもらう。手や体を使って創作活動をする事により、手先の器用さ豊かな人間性を養う。また完成した魚でお友達と一緒に「魚つり」を楽しみ共同で製作した喜びを味わう。

### (1)魚釣りを楽しもう <3才以上に限定>

①オリジナル大型紙芝居

②木工「魚つくり」

いか、たこ、魚などにかたどった木片に、やすりをかけ、色を塗り、磁石をはる。

③できあがった魚などを木のプールに入れ、磁石のついた、さおで「魚つり」を楽しむ。

④パネル「積み木の遊び方の注意」

ひのきの積み木を使って、積み木の遊び方や注意事項を説明する。

## (2) 木の葉を使って絵を描こう

### <3才未満>

①木や木の葉を使って画用紙に絵を描く。実際に木の枝や葉っぱに触れ、その材料を使って工作をする。

②パネル「積み木の遊び方の注意」

ひのきの積み木を使って、積み木の遊び方や注意事項を説明する。

### <3才以上>

①オリジナル大型紙芝居

②木の葉や木の枝を使って画用紙に絵を描く。実際に木の枝や葉っぱに触れ、その材料を使って工作をする。

③パネル「積み木の遊び方の注意」

ひのきの積み木を使って積み木の遊び方や注意事項を説明する。

## 3. ワークショップ・木と親しもう 所要時間: 30分程度

木の感触や匂い、音を感じてもらい、木の良さを伝える。また大型紙芝居、木育クイズや遊びを通して木にはそれぞれ特性があること、森の役割、伐採の必要性、間伐材利用の大切さなど、木について学ぶ。

### <3才未満>

①絵本の読み聞かせ、または、オリジナル大型紙芝居

まず、紙芝居、絵本を通して、木に親しみを持ち、興味をもたせる。

②いろいろな種類の木に触れさせる。

③木のおもちゃで遊ぶ

④パネル「積み木の遊び方の注意」

### <3才以上>

①絵本の読み聞かせ、または、オリジナル大型紙芝居

オリジナル大型紙芝居: 「スギじいさんとカリカリ」、または「森のおじいさんとピッピ」

森の役割、伐採の必要性、間伐材利用の大切さを紙芝居により伝える。

まず、樹木に興味や親近感を持たせる。

②木の特性を知ろう。

実験やクイズを通し木の特性を伝える。

④パネル「積み木の遊び方の注意」

ひのきの積み木を使って、積み木の遊び方や注意事項を説明する。

### 木育プログラムを実施できない時

以下の木育セットを貸出し、保育者に木育を実施してもらう

①森や木を題材にした絵本や紙芝居の貸出

②木のおもちゃの貸出

③パネル「積み木の遊び方の注意」の貸出